

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	2374200257
法人名	社会福祉法人仁至会
事業所名	グループホーム・ルミナス大府
訪問調査日	平成 20 年 7 月 9 日
評価確定日	平成 20 年 8 月 27 日
評価機関名	福祉総合研究所株式会社

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年 7月 19日

【評価実施概要】

事業所番号	2374200257
法人名	社会福祉法人仁至会
事業所名	グループホーム・ルミナス大府
所在地	愛知県大府市半月町三丁目289番地 (電話) 0562-44-8676

評価機関名	福祉総合研究所株式会社		
所在地	愛知県名古屋市千種区内山一丁目11番16号		
訪問調査日	平成20年7月9日	評価確定日	平成20年8月27日

【情報提供票より】(平成20年6月25日 事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 13 年 4 月 1 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	9 人 常勤 3 人, 非常勤 6 人, 常勤換算 6.9 人

(2)建物概要

建物構造	木造 造り
	1 階建ての 1階 ~ 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	実費
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 100 円
	または1日当たり		900 円

(4)利用者の概要(6月25日現在)

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護1	2 名	要介護2	4 名
要介護3	2 名	要介護4	1 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 87 歳	最低 82 歳	最高 94 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	国立長寿医療センター
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

あいち健康の森として、健康づくり・医療・福祉の専門施設が集まる恵まれた環境にあるホームである。平屋建てのホームは自然光が差し込みとても明るく、「こんにちは、いらっしゃいませ」と迎えてくれた利用者は、皆穏やかで素敵な笑顔をしていた。そして、理念である「老人天国」の想いを「ここは皆で楽しく暮らせる天国のような所である」と話してくれた。職員は、利用者の笑顔が少しでも多く見られるように、手作りのゲームを楽しんだり、得意分野を活かして生活できるよう支援している。利用者の出来る事・出来ない事シートを作成し、ケアのポイントが一目でわかるようにしてある。3ヶ月毎に家族懇談会が開かれ、家族とは信頼関係が築かれている。そして隣接する同法人の施設と合同で行われる行事や研修等もあり、管理者は職員に対し、平等に研修や勉強会への参加を促し、向上心を持って仕事に取り組めるよう努めている。利用者の状態の重度化に際してその指針を明確にし、安心して終末期を過ごせるようにしている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価の課題である理念については、地域や利用者にも根付いた新たな理念を掲げ、常に意識してケアに取り組んでいる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員は評価の意義や目的は理解している。今回の自己評価は管理者が作成し、それを基に職員が話し合い完成させた。職員からの意見は少なかったようである。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は2ヶ月毎に実施している。前回で13回目である。出席者は利用者・利用者家族・民生委員・地域包括支援センターの職員である。利用者の状況や行事予定、活動報告を行いホームへの理解を深めてもらい、意見や助言をサービスの質の向上に活かしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	3ヶ月に1度の家族懇談会や、家族の来訪時には、常に問いかけ何でも言ってもらえるような雰囲気作りを心掛けており、家族と職員は良好な関係が築かれている。また、家族からの意見や要望は、早急に話し合い運営に反映させている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の夏祭りは利用者も楽しみにしており、毎年わらび餅を利用者と一緒作り販売している。地域の人々のホームに対する理解も深まりつつある。また、詩吟や大正琴など、ボランティアとの交流や、地域の小・中学生の福祉体験や勤労体験等の受け入れを行い、積極的に地域との交流に努めている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者の言葉である「老人天国」を新たな理念とし、利用者の想いを大切にし、皆で楽しく地域での生活が継続できるよう支援している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は利用者が色紙に書き、玄関に飾られていた。他にも常に目につく所に掲示されている。利用者の言葉であり、家族や職員も理念を共有し、常に意識をしてケアに取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の夏祭りは利用者も楽しみにしており、毎年わらび餅を利用者と一緒作り販売をしている。地域の人々のホームに対する理解も深まりつつある。また、詩吟や大正琴等ボランティアとの交流や、地域の小・中学生の福祉体験や勤労体験等の受け入れを行い、積極的に地域との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は管理者が作成し、それを基に職員が話し合い完成させたが、職員からの意見は少なかったようである。評価の意義や目的は理解しており、外部評価の結果については、会議で話し合い、より良いサービスを提供できるように改善している。	○	全職員で自己評価に取り組み、ケアの振り返りや見直しの良い機会とし、サービスの質の確保・向上に活かしていくよう期待する。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に実施している。前回で13回目である。出席者は、利用者、利用者家族、民生委員、地域包括支援センターの職員である。内容は、利用者の状況や行事予定、活動報告を行いホームへの理解を深めてもらうと共に、意見や助言を得て、それをサービスの向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	3ヶ月に1度、市職員とあいち健康の森関連の施設の職員との交流会に参加している。最新情報を入手したり、ホームの理解を深めてもらえるよう交流を図り、市町村とともにサービスの質の向上に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	2ヶ月毎に「ホーム通信」を送付し、3ヶ月毎に家族懇談会を開き、利用者の状態や暮らしぶりを報告している。また、必要に応じ電話にて連絡をしている。家族の来訪も週1回～月1回あり、信頼関係が築かれており、家族が安心してまかせている様子が伺える。預かり金は家族の来訪時に確認し、サインをもらっている。	○	利用者の健康状態(往診結果)を家族に伝えるしくみ・説明方法について、より家族が満足する為の工夫を望む。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族懇談会や家族の来訪時には、常に問いかけ何でも言ってもらえるような雰囲気作りを心掛けており、家族と職員は良好な関係が築かれている。出された意見や要望は、早急に話し合い運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動・離職は少ない。利用者、家族、職員は信頼関係が築かれており、やむを得ず離職する際には利用者が不穏にならないように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は、職員が順番に研修や勉強会に参加できるよう調整し、職員のスキルアップとそれぞれが向上心を持ち仕事に取り組めるようにしている。法人内では様々な内容の勉強会や自分たちでテーマを決めて発表する研修発表会がある。また、月に1度スタッフ会議後に、看護師から医療面での講習が受けられる。研修内容は会議で報告し報告書は閲覧できるようになっている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	職員は、愛知県グループホーム協議会等の研修に参加し、情報や意見交換を行い交流を図っている。また、近隣のホームとは、利用者と職員がセットでそれぞれのホームで一日過ごす交換交流により、視野を広げ、気付き等をケアに活かせるよう努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族にホームを見学してもらい、面談や体験入居を行い徐々に慣れてもらうようにしている。その際、利用者の表情や様子、食事状況、他の利用者との関わり方などを観察・把握し、安心して生活できるかの可能性を検討している。可能であれば家族から本人に入居する事を説明してもらい納得して入居できるように努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	「働くのが大好きだから・・・」と優しい言葉をかけて助けてくれる利用者がいたり、買物時には重い荷物を持ってくれる男性利用者や、利用者同士でご飯を食べさせてあげたりと、お互いに助け合い家族のように過ごしている。利用者は安心して生活し、職員と利用者だけでなく、利用者同士も支えあう関係が築かれている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に生活歴や思いや希望を聴いている。日々の関わりの中で、何気ない言葉や表情や会話の中から、利用者の思いや意向の把握に努めており、一人ひとりの思いを大切にしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	医師のアドバイスも参考にして、利用者の出来る事・出来ない事シートを全職員で作成し、ケアのポイントが一目でわかるようにしてある。それにより職員は状態を把握できている。また、日々の関わりの中で本人や家族の思いや希望を聴き、利用者が自分らしく過ごすことができる介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	基本的には3ヶ月毎に見直しを行っている。家族には来訪時や家族懇談会で話をしたり、一日毎の生活の様子を記入した生活記録を見てもらっている。状態変化や状況に合わせ検討を行い随時見直しを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族や利用者の要望に応じ、利用者につき添い、孫の結婚式に出席したり、故郷を訪ねたり、墓参りに行くなど、利用者の笑顔が多く見られるように柔軟な支援をしている。また、医療連携体制が整い健康管理や医療処置を受けながらの生活の継続、重度化や終末期の体制も整えている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	近隣の開業医の医師による2週間に1度の往診があり、緊急時等の連携も出来ている。また、入居前のかかりつけ医への受診を希望する場合は家族に依頼している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期の指針を作成し、ホームで出来ることを明確にして、理解してもらい、希望がある利用者には家族と同じ思いで対応できるように全職員で方針を共有している。また、利用者の思いを第一に考え、家族、主治医と連絡を密にとり最善を尽くすように努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、利用者一人ひとりのペースを尊重して、ゆっくりとさりげない対応をしている。特に言葉のかけ方には注意している。また、個人情報の取り扱いは慎重に行い、家族に同意を得ている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、利用者一人ひとりの、その日その時の気持ちや希望に添えるように、あくまでも利用者本位の支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは、季節やその日の体調にあわせ、利用者と職員がチラシや料理本を見ながら決めている。調理方法も工夫され、利用者と職員と一緒にテーブルを囲みながら、和気あいあいと笑顔で食事を楽しんでいる。また、調理や片付けも皆で協力して行っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	おやつ後の午後3時半頃～順番に毎日入浴をしている。浴室はゆったりした広さがあり、気の合う人同士で入浴したり、入浴剤などを使用し、体調に注意しながら楽しく入浴ができるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者が中心となり毎日歌をうたったり、職員手作りのスゴロクや魚釣りゲームをする等、笑いの絶えない時間を過ごしている。旅行や外食、花見等、楽しい行事も多い。また、畑仕事や家事など得意分野を活かしてもらえるように支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日、午前・午後の買物は利用者も一緒に出掛けている。個別の買物はボランティアで対応する事もある。近隣の散歩やお弁当を持ち公園へ出掛け、気分転換を図り、季節を肌で感じ心身共に活性できるような支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	昼間は鍵をかけず、自由に入出入りでき、玄関は戸を開けるとチャイムが鳴るようになっている。職員は、利用者のその日の状態を把握し、外出しそうな時は一緒に出掛けるなどして利用者の自由な暮らしを支援している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て、昼と夜を想定した非難訓練やAED・消火器を使用しての訓練や地震を想定しての訓練を行っている。また、食料や水は3日分を目安に避難用倉庫に備蓄し、災害グッズも準備している。防災管理者講習を受講した職員もいる。	○	災害対策については、運営推進会議などでも取り上げ、地域の人々の協力を得られるよう働きかけていくことを望む。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量は、毎日チェックシートに記入し把握している。また、健康診断の結果を参考にして、塩分の取りすぎに注意し、利用者の好みや体調を考慮しながら、バランスを考えた献立を立てている。リビングにはポットと湯のみが用意しており、いつでも水分が摂れるように工夫している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関横には季節の野菜や花が植えられ、玄関の外に置かれたベンチでは季節の風を感じながら一休みできる。バリアフリーの玄関を入ると、利用者手作りの作品が飾られ、温かい雰囲気である。吹き抜けのダイニングや掘りごたつのリビングには、明るい日差しが差し込み季節の潤いを感じる事ができる。畳コーナーや所々に腰掛スペースが設けられ、居心地良く過ごせるよう工夫がしてある。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	手作りの名札がついた居室は、和室と洋室とがあり、利用者が居心地良く過ごせるように、好みの家具や思い出の調度品等が置かれ、自分の家のように安心して過ごすことができるよう配慮している。		